

地震・雷・火事・親父 (ニュースレターのタイトルです)



ハイライト

- LINE連携型メールシステムをお勧めします。
オプション機能「LINE連携」が注目されています。



新年度が始まりました。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

● LINE連携型メールシステムとは

今回はチャットの代表格LINEとメールシステムを比較しながら検討を進めたいと思います。

以前は、病院や介護施設などの施設では、電話連絡網が唯一の一斉連絡手段でしたが、現在では職員のスマホへ直接配信する方法がとられています。また施設では実にさまざまな連絡事があり勤務表の添付などを含めるとその配信量も多いものです。

配信先も施設全体、部署毎、個人、委員会、利用者家族向けなど多岐に及び、配信システムの種類も多いのでどれとどれを組み合わせれば良いかと悩む管理者様も多いようです。今回はそんな管理者様のお役に立てばと利用料金、使い勝手や開封率を含めた深掘りを企画しました。

結論から先に述べると、病院・介護施設の連絡には、LINEと連携できる連携型メールシステムが最適です。以下、チャットの代表格LINEとメールシステムを比較しながら検討を進めます

まず部署内連絡は、LINEグループトークが費用もかからず便利です。しかし1グループ20名ぐらいまでが管理の限界。施設内には部署を中心とした多数のLINEグループが誕生するので、全体を把握したり運用することがとても難しくなります。当然管理やセキュリティ上の問題も発生します。LINEは、少人数のグループ連絡には向いていますが施設全体や家族連絡には無理があ

ります。この欠点をカバーしたLINEの有料上位サービスにLINENETWORKSがありますが、月額使用料が高額となり考えものです。



LINEと連携した 複合型メールシステム



一方、メールシステムの優れた点は、全職員一斉、部署別、個人、キーワードなど送信先を自由に設定し配信できる点です。施設運営には十分使え利用料金も安い利点があります。

施設で運用する場合、小グループの連絡にはLINEなどのチャット、施設全体や家族連絡はメールシステムを使用するミックス配信、具体的にはメールもできるし、LINEに連携して小グループにも配信できるLINEと連携可能な連携型メールシステムが最も望ましいという結論になります。是非参考にしてください。

今日も皆様方がのびのび活躍されますことをお祈りしています。

(有)加藤電工 担当者 加藤 初徳